



平成30年度 福岡県商工部施策の概要

平成30年度当初予算がスタートしました。本誌では、福岡県商工部の平成30年度当初予算の重点施策の概要を紹介します。

1. 本県経済を支える中小企業・小規模事業者の成長・発展

■中小企業振興資金融資費

(中小企業振興課)

県の資金を金融機関に預託し、金融機関の中小企業者に対する低利融資を促進することにより、中小企業者の資金繰り円滑化を図る。

予算額：1,076億4,110万円

融資枠：6,884億円

■中小企業経営支援費

(中小企業振興課、新事業支援課)

商工3団体を通じた金融・税務等の経営全般の支援を行うことにより、県内中小企業の振興を図る。

予算額：39億6,898万円

■地域商品券による地域経済活性化支援費

(中小企業振興課)

個人消費を喚起し、商店街をはじめ地域経済の活性化を図るため、商工会議所・商工会や商店街が行うプレミアム付き地域商品券の発行を支援する。

予算額：4億1,788万円

■商店街活性化対策費

(中小企業振興課)

商店街の施設整備や魅力ある店舗誘致、繁盛店創出等の取組みを支援することにより、身近な買い物の場、地域コミュニティの担い手としての機能を高め、商店街の活性化を図る。

予算額：2,433万円

■地域中小企業支援費

【一部新規】

(中小企業振興課、中小企業技術振興課)

中小企業の事業の継続と多様で活力ある成長発展や、円滑な事業承継の促進を図るため、関係機関が連携して、それぞれの成長段階や事業環境に応じたきめ細かな支援を行う。

予算額：1,849万円

2. 本県経済を担う産業の育成・集積

■北部九州自動車産業アジア先進拠点推進費

【一部新規】

(新産業振興課)

開発・設計から生産まで一貫して担える拠点として、さらに成長していくため、地元企業の開発力強化や部品比率が高まっている電子・電装分野への参入支援を行うとともに、今後、普及が見込まれる電動車への部品供給に地元企業が備えるため、「自動車電動化部品研究会」を開催する。また、FCVの普及を図るため、水素ステーションの整備を促進する。

予算額：5,164万円

■バイオ・メディカル関連産業振興費

【一部新規】

(新産業振興課)

バイオ技術を活用した革新的技術の実用化を支援するとともに、県内企業が取り組む機能性表示食品や医療・福祉機器の開発等を支援する。

予算額：2,304万円

**■IoT関連産業振興費** **【新規】**
(新産業振興課)

IOTシステムを提供するITベンダーと県内企業とのマッチング・交流の場を提供し、県内企業の生産性向上や課題解決を図る。

予算額：863万円

■水素エネルギー戦略推進費 **【新規】**
(新産業振興課)

県内中小企業の水素・燃料電池分野への参入を促進するため、メーカーとのマッチングや製品の実用化支援を行う。

予算額：435万円

■航空機産業振興費 **【一部新規】**
(企業立地課)

県内企業の航空機産業参入を促進するため、企業間連携で行う事業を支援する。

予算額：250万円

3. 域外からの集客拡大による 地域経済の活性化

■観光資源開発費 **【一部新規】**
(観光政策課)

外国人観光客を対象とした体験・交流・滞在型の観光資源を開発するとともに、観光地域づくりを行う組織や人材の育成等の取組みを推進することにより、観光客の誘客と観光消費額の拡大を図る。

予算額：2,887万円

■伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催費 **【新規】**
(観光政策課)

伝統的工芸品月間国民会議全国大会を開催し、本県の伝統工芸品の認知度向上、販路拡大を促進する。

予算額：5,806万円

■外国人観光客受入環境整備費 **【新規】**
(観光振興課)

外国人観光客がストレスなく快適に県内を周遊できるよう、受入環境の整備を支援する。

予算額：514万円

■観光プロモーション推進費 **【一部新規】**
(観光振興課)

県内の様々な観光資源を幅広く情報発信することにより、関西を中心とした観光客の誘客、周遊を図る。

予算額：3,769万円

**■ラグビーワールドカップ2019
観光プロモーション推進費** **【新規】**
(観光振興課)

ラグビーワールドカップ2019九州内対戦国をはじめ本大会を契機として誘客が期待できる国・地域に対してPR活動を実施し、九州および各県の認知度向上、試合観戦者等の周遊観光促進を図る。

予算額：1,609万円

※本記事は、福岡県ホームページの「福岡県の当初予算(平成30年度)」から引用。